

# コンパス薬局瀬谷 スキルアップ勉強会

2016.12.8 小西航

## 第64回 『ロコアテープ』

帝人ファーマ株式会社 豊田さん

参加者：西澤Dr、作佐部、佐藤直、水谷、佐藤杏、佐藤綾、阿部、田中、伊藤、小西

変形性関節症は関節疾患の中で最も高頻度に見られる疾患であり、その患者数は高齢者数の増加に伴って当面増加が続くと推定される。変形性関節症が進行すると介護や手術の必要性が高まるため、早期から適切に治療することが重要である。

非ステロイド性抗炎症薬（以下、NSAIDs）は変形性関節症の薬物療法において中心的に使用されてきた。NSAIDs 経口剤では消化管障害の発現頻度が高いことから、これを回避するため外用剤が開発された。しかし、NSAIDs 外用剤は、経皮吸収性と標的部位である深部組織への移行性が不十分である。これらを克服したのが経皮吸収型 NSAIDs のロコアテープ（エスフルルビプロフェン）である。

### 【効能・効果】

変形性膝関節症における鎮痛・消炎

### 【用法用量】

1日1回、患部に貼付する。同時に2枚を超えて貼付しないこと。

### 【特徴】

- ・強力な COX 阻害作用を有す。
- ・1日1回の貼付で、鎮痛・抗炎症作用を示す。
- ・変形性関節症の症状を経時的に改善する。
- ・経皮吸収性に優れ、体内からの消失が比較的早い。
- ・副作用発現時には製剤を剥がすことで速やかな回復が期待でき、光毒性も示さない。

### 【副作用】

臨床試験において、総症例 1,391 例中、副作用が認められたのは 269 例 (19.3%) 415 件で、主なものは、適用部位皮膚炎 111 例 (8.0%)、適用部位紅斑 44 例 (3.2%)、適用部位湿疹 32 例 (2.3%) であった。

### 【考察】

ロコアテープの有効成分はエスフルルビプロフェンとって、既存の製剤にあるフルルビプロフェン（ヤクバンテープ、アドフェードパップ）を改良した成分である。

フルルビプロフェンは「S フルルビプロフェンと R フルルビプロフェン」が混合してできているので、効果の高いエスフルルビプロフェンだけを抽出して製剤化したのがロコアテープである。

他の製剤よりも成分の吸収が良いので「本剤2枚貼付時の全身曝露量がフルルビプロフェン経口剤の通常用量投与時と同程度に達することから、1日貼付枚数は2枚を超えないこと」（添付文書より）という文言がある。高齢者で1日何枚も使用してしまう患者様には注意が必要な製品でもある。

#### 【質問事項】

Q、ロコアテープと他のテープ剤との併用は大丈夫か？

A、データなし。

Q、1ヶ所に2枚貼ったら効果は高くなるのか？

A、効果が上がるとは言い切れない。

Q、全身の曝露量が高いということは、腰に貼っていて膝にも効くのか？

A、パップ部位にしか効かない。